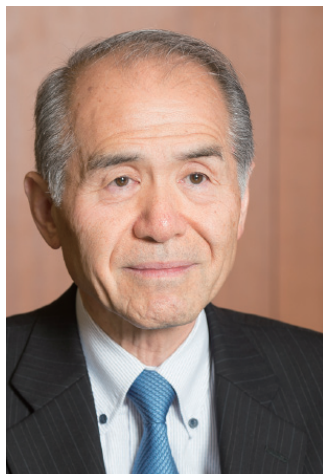


Hospital 病院クローズアップ

国立病院機構

岡山医療センター



院長PROFILE

佐藤 利雄 (さとう・としお)

1977年岡山大学医学部卒業。

1993年国立岡山病院呼吸器科医長、2008年岡山大学医学部臨床教授、2010年岡山医療センター統括診療部長、2012年同センター副院長を経て、2014年同センター院長に就任。

「今、あなたに、信頼される病院」を理念とし、
良質な急性期診療を發展させたい

当院は、「信頼される病院」を理念に掲げ、高度な急性期診療を総合的に提供して、地域から信頼される病院であるべく多種多様な症例を日々診療しています。

当院は609床を有するDPCII群の急性期総合病院で、当院の診療の特徴は、専門性と総合力です。旧国立病院時代の地方循環器病センター、小児医療センターの伝統を引き継いでおり、成人診療では岡山県総合周産期母子医療センターに指定されています。また、岡山県の地域がん診療連携拠点病院です。がん医療は当院の大きな柱であり、呼吸器、消化器、血液、泌尿器、甲状腺など多くの悪性疾患に高度の診療を行っています。さらに整形外科は手術件数が多く、外傷及び脊椎外科分野では我が国のオピニオンリーダー的に活躍しています。循環器、特に肺高血圧症の治療に関しては、血管拡張薬を用いた独自の治療法により優れた治療成績をあげています。また慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症の新しいカテーテル治療を世界に先駆けて実用化し、内科的治療では世界を牽引する優れた成績を得ています。注目度は高く、海外から専門医師の見学や研修の来院が続いています。

当院では、次の世代を担う人材育成に力をいれています。当院には西日本最大規模の「スキルアップシアター（研修センター）」があり、いつでも技術トレーニングができます。広い「ホスピタルスタジオ」は複合的テーマ研修やチーム医療

研修に活用しています。スキルアップラボではさまざまな個人的シミュレーション研修が可能です。国立病院機構の中でこのようなスキルアップシアターを持つのは当院のみだと思います。

今後の当院のビジョンについてですが、ほぼ全診療科が学会の教育研修病院になっていますので、総合力を生かした診療を多くの若い先生方と展開していきたいです。高度の急性期医療には各科のシームレスな診療が上質な医療の提供につながります。今これだけのスタッフ、設備が揃っているのは当院の強みですので、優れた診療力で将来も力を発揮していける総合病院であり続けたいと思います。

若い先生に対する私からのメッセージですが、「時間はすべての人に平等に与えられているが、その時間をどう使うかがポイント。いかに集中して食欲に学び取るかが非常に重要だ」と常日頃よく言っています。学び取るというのは、指導医、先輩、患者さん、スタッフ、周囲の人たちからの学びを指しています。また、甘い意見も苦い意見も言ってくれる同じ研修医の仲間、そして指導医との人間関係を築けるのは研修医の時代しかありません。チャレンジして、まさかの失敗や挫折があったとしても、研修医の時は指導医に受け止めてもらえるでしょう。失敗も含め、たくさんの経験をした上で、将来は自分も後輩たちとそういう関係を築けるような人になってほしいと思います。

岡山医療センター DATA

■所在地

岡山県岡山市北区田益1711-1

<http://okayamamc.jp/>

■病床数

609床

■診療科目

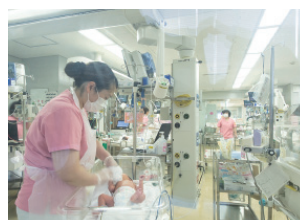
総合診療科 / 血液内科 / 腎臓内科 / 糖尿病代謝内科 / 精神科 / 神経内科 / 呼吸器内科 / 消化器内科 / 循環器内科 / アレルギー科 / 小児科 / 外科 / 整形外科 / 形成外科 / 脳神経外科 / 呼吸器外科 / 心臓血管外科 / 小児外科 / 皮膚科 / 泌尿器科 / 産科 / 婦人科 / 眼科 / 耳鼻いんこう科 / リハビリテーション科 / 放射線科 / 歯科 / 麻酔科 / 病理診断科 / 緩和ケア内科 / 感染症内科 / 救急科

■研修の特色

豊富な症例をもとに、トップレベルの専門医が指導にあたります。必須の内科と救急のほかに、外科と小児科でも1カ月ずつ必ず研修します。また、13カ月の自由選択期間があるので、自分の希望する分野に取り組むことができます。医師育成キャリア支援室があり、研修医のお世話をする医師のグループがサポート。宿泊研修では上級医も宿泊し、さまざまなディスカッションを行います。



スキルアップシアター



NICU病棟



一般病棟課所



吉備津神社

岡山医療センターのある街

「晴れの国おかやま」と言われるぐらい、雨の少ない温暖な地域

岡山市は、岡山県の南東部に位置する政令指定都市。温暖な瀬戸内特有の気候で、「晴れの国おかやま」。冬も比較的温暖で、空気が澄んで透き通るような青空が見られる。また、自然災害が少なく、地震もめったにないということで国内からの移住者も増えている。恵まれた自然環境にありながら、医療は高いレベルを保ち、福祉、教育の分野でも高度な都市機能が集中して住みやすい街である。

岡山は古代吉備文化発祥の地であり、桃太郎伝説がある。吉備路を訪ねると、古墳群や備中国分寺があり、吉備津神社(国宝)は桃太郎(朝

廷から派遣された吉備津彦命)が鬼(地元豪族「温羅・うら」)を退治した伝説に基づく神社である。岡山では鬼も崇められ、各地で鬼の祭りが続けられている。岡山の夏祭りの名前は「うらじゃ祭り」という。

「フルーツの国」としても知られている。白桃やマスカット、ピオーネといった果物は温暖な気候のおかげで甘くておいしい。生産量も全国トップクラス。最近では新鮮な果物をたっぷり盛ったフルーツパフェの街としても有名なので、ぜひ食して欲しい。

